



2010年2月16日
株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・シー
スカパーJSAT 株式会社

鹿島アントラーズ、 2010 シーズンからスカパー！の リーグ戦ホーム試合の中継を独自制作 —クラブの中継制作は日本初—

株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・シー(代表取締役社長・大東和美、以下鹿島アントラーズ)及びスカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:秋山政徳、以下スカパーJSAT)は、鹿島アントラーズが2010シーズンからJリーグ J1 鹿島アントラーズのリーグ戦のホーム試合の中継制作することを決定しました。クラブ自身が試合の中継制作に参画するのは日本初の試みです。

鹿島アントラーズが制作するのは、リーグ戦ホーム試合(全17試合)中、スカパーJSATが放送する試合で、ソニーPCLと協力して中継制作します。

現在、Jリーグ中継制作は、Jリーグの放送権を獲得しているスカパーJSATが制作会社に制作を依頼する形をとっています。今回、鹿島アントラーズはクラブとして制作会社と同じ役割を果たすというまったく新しい試みに挑戦します。スカパーJSATは、鹿島アントラーズに中継制作を依頼することにより、サポーターに対し、より深くサッカーやクラブの魅力を伝えることが可能になると考えました。例えば、ロッカールームの風景を紹介したり、それに伴いクラブ側が装飾したプレイヤーズトンネルの模様などもスカパー！ならではの映像としてご覧いただけるようになります。

スカパーJSATと鹿島アントラーズは、これまでの中継概念を覆し、サッカーを愛する視聴者へ新たなサッカーの楽しみ方を提供していきます。